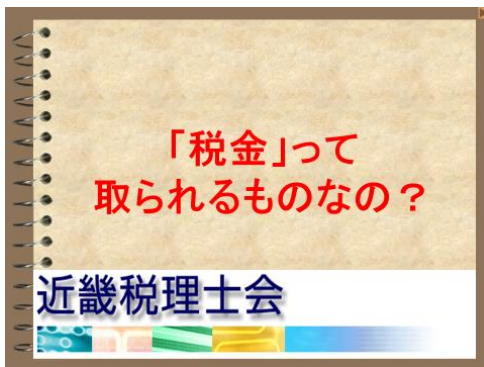
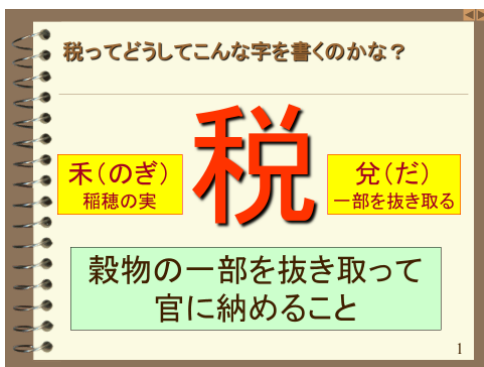


# 「税金って取られるものなの？」

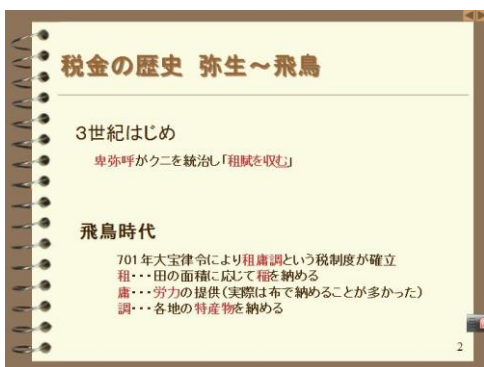
高校生用 I



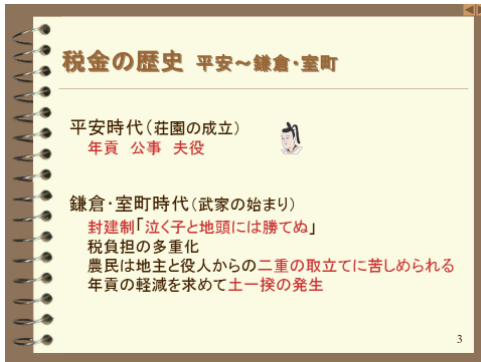
はじめに講師の自己紹介と、キャリア教育の一環として、税理士の職業をご自身の経験などから、魅力ある職業としてアピールしてください。また、税の専門家・会計の専門家・会社経営の良きパートナーであることや、代表的な税理士のなり方の説明もいいかもしれません。我々税理士が、納税者と国・地方公共団体の間に立って、正しく申告納税できるよう様々な手助けをする、無くてはならない職業であることも説明してください。高校生対象の授業なので、将来の進路として税理士という職業に興味を持つ生徒がいるかも知れません。もし具体的な仕事について質問があれば、わかりやすく答えてあげてください。



税の字の説明です。今はお金で納めるので「税金」となります。



3世紀はじめ  
魏志倭人伝の中の記載に邪馬台国の女王卑弥呼がクニを統治し「租賦を収む」とあり税が納められた記載があります。  
古代の集団であるクニは、大和朝廷のような国家である国とはニュアンスが異なるため、あえて「クニ」と表現しています。  
狩猟時代から稲作時代への変遷の中で、土着型生活体系へ移行していきました。  
集団生活の維持費としてスタートした税ですが、権力者が庶民から搾取する歴史が始まります。



平安時代（荘園の成立）

### 荘園制度 しょうえんせいど

8～16世紀の土地制度で、貴族・社寺（ヨーロッパでは諸侯・騎士・教会）の私有地である荘園を基盤として土地・人民を支配するしくみ。▽日本の場合、荘園の領主を本家・領家といい、荘官に荘園を管理させ、年貢を徴収させた。荘園には租税をおさめない不輸の権と、役人（検田使）を入らせない不入の権があったので、国家財政に大きな影響をあたえた。藤原氏の摂関政治が行われた平安時代に荘園は広がったが、鎌倉時代に入ると地頭の荘園侵略が始まった。室町時代に守護大名・戦国大名の領国支配が強まると、荘園制度はくずれはじめ、豊臣秀吉の太閤検地によって、完全に廃止された。

年貢・・・稲の納入

公事・・・糸、布、炭、野菜などの特産品の  
納入

夫役（ぶやく）・・・労働力の提供

鎌倉・室町時代（武家の始まり）

守護・地頭の台頭→「泣く子と地頭には勝てぬ」

封建制が強く税負担の多重化、田租が中心となる

地頭は鎌倉時代、源頼朝が各地の荘園や公領においた職。▽御家人が任命され、土地の管理、年貢の徴収、警察の仕事をした。

### 税金の歴史 戦国～江戸

安土桃山時代(太閤検地)  
 豊臣秀吉が検地を実施  
 当時の税率二公一民(3分の2が年貢)

江戸時代  
 荘園制の崩壊・大名領国(藩)を単位とする封建体制  
 四公六民・五公五民  
 高い年貢率に対する百姓一揆の発生

・安土桃山時代(太閤検地)  
 豊臣秀吉が検地を実施  
 1582年から7年間にわたり全国の田畑の面積と収穫を綿密に調べて収量の計測単位は米の石高に統一・当時の税率二公一民(3分の2が年貢)

### 税金の歴史 明治～大正

明治 6年1873	地租改正	地価の3%を地租として現金で納めた 高額な地租に農民一揆が発生
明治20年1887	所得税導入	高額所得者に限られ税収全体の0.8% 酒税が税収の第一位
明治後期 (～1912)	税目の増加	登録税・営業税・麦酒税・通行税・相続税 の導入
大正時代	直接税移行	所得税が税収の第一位 戦費調達のため新税が次々と導入

・明治時代  
 地租改正・・・全国の土地の時価を定めて地券を発行し、地価の3%を地租として現金で納めた  
 ※いやな3パーセントの地租改正(1873年)  
 ・大正時代  
 資産課税中心の税制から所得課税中心の税制に戦費調達のため新税が次々と導入(清涼飲料税、営業収益税など)

### 税金の歴史 昭和初期

昭和時代初期～戦費調達のための増税が続く

昭和15年1940	源泉徴収制度創設、所得税から法人税が分離
昭和17年1942	税務代理士法(税理士法の前身)制定
昭和21年1946	日本国憲法公布 3大義務(勤労・教育・納税)
昭和22年1947	「申告納税制度」導入
昭和25年1950	シャープ勧告により 「直接税中心(所得の総合課税化)」 「累進税率課税(応能負担)」 「青色申告制度(正確な記帳に種々の特典)」

・昭和時代初期  
 戦費調達のための増税が続く  
 ・昭和15年(1940年)源泉徴収制度創設、所得税から法人税が分離  
 ・昭和21年(1946年)日本国憲法の公布、勤労・教育にならぶ3大義務の一つとして納税の義務が定められる  
 ・昭和22年(1947年)納税者が自主的に自分の税金を計算して納税する「申告納税制度」の導入  
 ・昭和25年(1950年)シャープ勧告により  
 「直接税中心(所得の総合課税化)」  
 「累進税率課税(応能負担)」  
 「青色申告制度(正確な記帳に種々の特典)」

### 選挙と税金

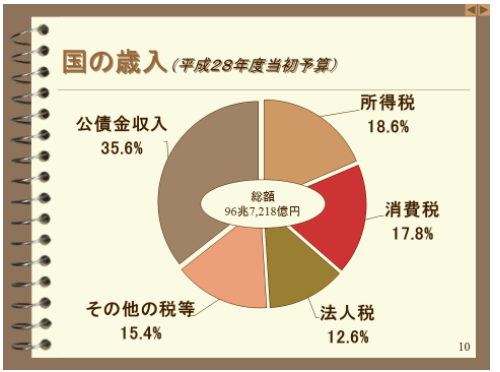
明治22年1889	衆議院議員選挙法 直接国税(地租)を15円以上納税した満25歳以上の男子に選挙権が与えられた
大正14年1925	普通選挙制度制定 財産・納税額・身分・教育・信仰や教養不問に！25歳以上の男子に選挙権が与えられた
昭和20年1945	衆議院議員選挙法改正 婦人参政権の実現・選挙権20歳以上
昭和27年2015	公職選挙法等の一部を改正する法律 成立・公布 選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられた

- ・明治22年(1889年)衆議院議員選挙法  
直接国税(地租)を15円以上納税した満25歳以上の男子に選挙権が与えられた
- ・大正14年(1925年)普通選挙制度制定  
財産・納税額・身分・教育・信仰や教養などによって制限を設けず、25歳以上の男子に選挙権が与えられた
- ・昭和20年(1945年)衆議院議員選挙法改正  
婦人参政権の実現・選挙権20歳以上・被選挙権25歳以上
- ・平成27年(2015年)公職選挙法等の一部を改正する法律の成立・公布  
選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられた

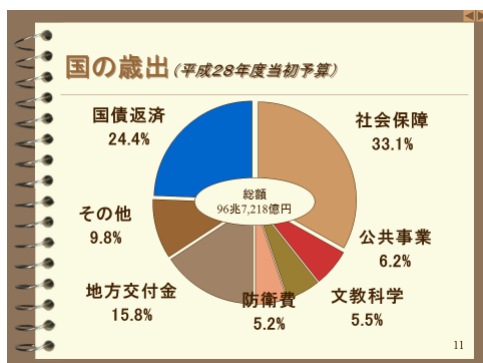


代表的な税金について簡単に説明して下さい。日本には約50種類の税金がある。できるだけ公平にするために約50種類の様々な種類の税金がある。

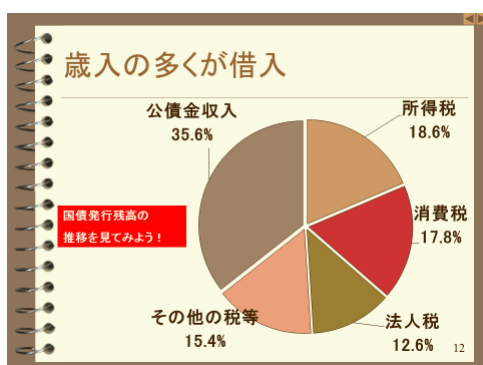
消費税は平等？  
所得税は公平？



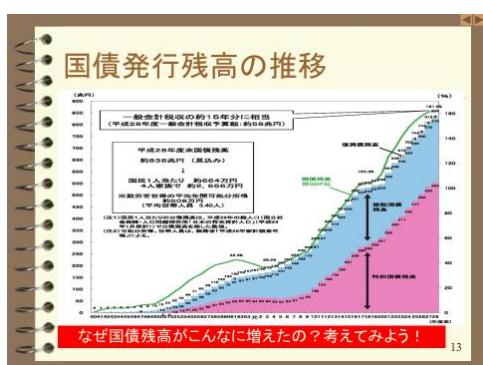
- 歳入総額 96兆7,218億円
- 所得税 17兆9,750億円
- 消費税 17兆1,850億円
- 法人税 12兆2,330億円
- 公債金収入 34兆4,320億円



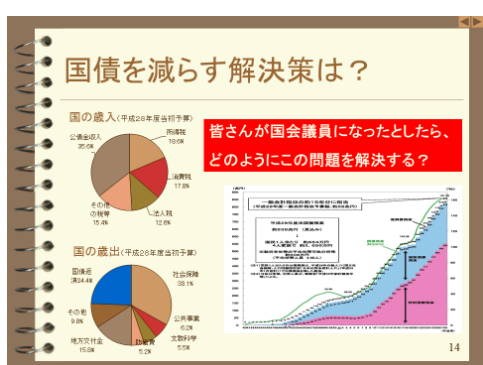
歳出総額 96兆7,218億円  
 社会保障が年々増加していることや、国債返済で国庫がひっばくしていることなどを説明してください。



歳入の多くが借り入れであることを生徒たちに問いかけて、一緒に考えてみてください。



国債残高増加の要因  
 税収不足→内需拡大を促すための国債発行増加  
 わずか10年程のあいだに倍近くにふくれ上がってしまっている。  
 なぜ国債がこんなに増えたのか、みんなで考えてみてください。



国債を減らす案が何かないか、生徒たちに考えさせてください。  
 増税、支出の削減などが考えられます。

増税？減税？

増税！  
↓  
消費の縮小により税収減！？  
↓  
税収減と増税のバランスは！？

減税！  
↓  
消費の拡大により税収増！？  
↓  
税収増と減税のバランスは！？

15

補足できることがあれば、補足して説明してください。

税の無駄遣いと脱税

無駄遣い・脱税！  
↓  
税収不足！？  
↓  
国債の発行・増税！？

16

脱税はその本人の問題ではなくすべての国民に迷惑がかかっていることを理解させる。

取られるから納めるへ

庶民が権力者との主従関係により**税**を取られる。

↓

主権者である国民が、国家の維持費として**税**を納める。

「税金」とは国民と国家の約束ごと！

17

国民が選挙により選出した国会議員が、国会で立法した租税法に基づいて、税金を納めるようになり、また、申告納税制度のもと自ら税金を計算して納めることになり、過去の税金に対する悪いイメージと、現代の税の仕組みは違うことを強調し説明する。

「税金」は国民と国家の約束ごと！  
福沢諭吉の「学問のすすめ」より

「税金」って取られるものなの？  
END  
近畿税理士会

AT&T 著作権利用しています。 http://www.atp.or.jp

質疑応答。